

社団法人日本新体操連盟

平成 22 年度第 2 回総会議事録

1. 会議名： 平成 22 年度第 2 回総会
2. 日時： 平成 23 年 3 月 16 日（水）11 時 00 分～11 時 30 分
3. 場所： 東京都渋谷区代々木 2-2-1
「小田急ホテルセンチュリーサザンタワー21 階イーストルーム」
4. 構成員現在数： 577 名
5. 出席会員数： 475 名（うち委任状出席者 469 名）
以下出席会員
イオン、イオン新体操スクール八千代緑が丘校、ジャスコマリンピア、
ジャスコ行徳、Sweet ピュア R.G、ピュア R. G
6. 欠席会員数： 102 名
7. 出席役員： 渡辺 守成（常務理事）池田真喜子（理事）岡 久留実（理事）
崇島 慎一（理事）
二木 英徳（会長）朝倉 正昭（副会長）石崎 朔子（副会長）
福本 隆（副会長）荒井 隆（専務理事）関田史保子（常務理事）
秋山エリカ（理事）上村 郁代（理事）谷口 裕代（理事）
谷原 誠（理事）橋本 千波（理事）藤島八重子（理事）
岩本 晃（監事）田中 元（監事）
以上 16 名（うち委任状出席 12 名）
その他監事 2 名（うち委任状出席 2 名）
8. 欠席役員： 山崎 浩子（理事）
以上 1 名

< 出欠に関する注記 >

3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により、交通機関の運行停止や停電により、役員、加盟クラブの直前の欠席が多数あった。その為、出席者数が少ない中での開催となった。

9. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 23 年度事業計画について（定款第 5,29,38 条関連事項）
第 2 号議案 平成 23 年度収支予算について（定款第 29,38 条関連事項）
第 3 号議案 平成 23・24 年度役員改選の件（定款第 4 章関連事項）
第 4 号議案 その他

10. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

今回 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により交通機関の運行停止等のため、二木英徳会長が当日来場する事ができず、委任状出席する事となった。代わりに議長を渡辺常務理事が務め、開会宣言を行った。

(2) 定足数の確認

定款第 30 条により総会出席者数委任状含めて 496 名であることが崇島理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(3) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を岡久留実理事と崇島慎一理事にする事を議場に諮り承認された。

(4) 議決事項

第 1 号議案 平成 23 年度・事業計画について（定款第 5, 29, 38 条関連事項）

議長は説明者として岡久留実理事を指名し、岡理事は下記内容の説明を行った。

1. 平成 23 年度年間事業計画について
22 年度と大きな変更点はなく、ほぼ例年通りの行事を予定している。
2. 第 20 回全日本新体操クラブ選手権について
「第 20 回クラブ選手権」を 8 月 27 日から 29 日にかけて「東京体育館」にて開催する。出場年齢、獲得出場権等ほとんどの内容は 22 年度と同様とする。変更点は種目が 2 年ごとのローテーションにより、使用手具が変更となる。
シニアでは、FIG 技術委員会の意向によりロープが種目として無くなったので、シニア、ジュニアともに 1 部リーグはフープ、ボール、クラブ、リボン。2 部リーグはフープ、ボール、クラブとなる。
3. 第 11 回全日本新体操クラブ団体選手権について
「第 11 回団体選手権」を 9 月 18 日 19 日に「幕張メッセ」にて開催する。例年「東京体育館」にて開催してきたが、23 年度は「幕張メッセ・イベントホール」での開催となる。種目は、ローテーションにより、シニア リボン 3 フープ 2、ジュニア ロープ 5 となるその他については、22 年度同様に開催する。
4. 世界新体操クラブ選手権について
「世界新体操クラブ選手権」を 10 月 28 日から 30 日、場所は東京体育館にて開催する。種目はシニア・ジュニアともに、フープ、ボール、クラブ、リボン。その他は 22 年度同様の開催を予定している。
5. 第 12 回日本新体操祭について
「第 12 回日本新体操祭」を「世界新体操クラブ選手権」と同時開催する。日程は 10 月 29 日。場所は東京体育館。その他概要は前回大会同様を予定している。
6. 第 14 回全日本新体操チャイルド選手権・第 11 回全日本新体操キッズコンテストについて
「第 14 回チャイルド選手権」「第 11 回キッズコンテスト」を 2012 年 2 月 24 日から 26 日にかけて「東京体育館」で開催する。開催方法は第 13 回大会同様とする。
チャイルド選手権特別ルールは後日案内する。
7. 平成 23 年度指導者育成セミナーについて
「審判セミナー」を各大会前に行い計 3 回、「指導者育成セミナー」を国内計 10 回、海外計 2 回を予定している。開催方法は平成 22 年度同様を予定している。
「指導者育成セミナー」では講師を国際体操連盟技術副委員長のナタリア・クズミナさんをお願いしているが、クズミナさんが FIG の会議等により海外出張が多いため、やむを得ず、講師の変更や、日程を変更するなど、セミナーを予定通り開催できないこともあることを了承いただきたい。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 1 号議案「平成 23 年度・事業計画」について原案通り可決承認された。

第2号議案 平成23年度・収支予算について（定款第29,38条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

平成23年度事業はほぼ平成22年度事業と同様に進める予定であり、予算についてもほぼ前年度同様のものから、実績を反映し、予算組みしている。

1. 新体操祭収入について

今大会は参加人数が増えている。23年度は22年度実績を反映し、100万円増の590万円の収入を計上した。

2. 補助金収入について

SSFスポーツエイドでは助成事業20周年を迎え、事業の見直しが行われ、SSFスポーツエイド助成事業が終了する事となった。例年本連盟では、SSFスポーツエイドに助成申請していたが、23年度より申請が出来なくなったので予算を計上していない。

3. 事業活動収入合計について

事業内容が22年度と同様のため、22年度実績を考慮し、ほぼ同額で事業実施できる見通しである。平成23年度事業活動収入合計は22年度とほぼ同額の2億3368万円を計上した。

4. 事業費支出について

収入の部同様、前年同様の支出額を見込み、事業費支出を2億262万円の計上をした。

5. 管理費について

支出を色々な方向から検討し、全体で100万円減の3410万円を計上した。

6. 合計額について

事業費支出と管理費を合わせ、2億3672万円が当期事業活動支出となり、当期事業活動収支差額が-304万円。予備費を100万円計上して当期収支差額が-404万円。

前期繰越収支差額1942万5374円を合わせて、1538万5374円を次期繰越収支差額とした。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成23年度・収支予算」について原案のとおり可決承認された。

第3号議案 平成23・24年度役員改選について

渡辺守成常務理事が説明者を務め、渡辺理事は下記内容の説明を行った。

定款18条により、本連盟の役員任期は2年となっている。平成22年3月末をもって第4期役員任期が終了することにより、平成22・23年度第5期役員改選を行う。

本連盟は、「公益法人制度改革」に伴い新法人へ移行の準備を進めている。その移行に伴い定款、役員等変更が生じてくるため、移行に備え、今回の改選では第4期理事の継続を基本線に提案したい。

第5期役員は第4期より継続し、19名のメンバーにて提案差し上げる。

二木	英徳	イオン株式会社・名誉相談役
朝倉	正昭	国土舘大学・教授
石崎	朔子	日本女子体育大学・教授
福本	隆	日本テレビ鳩友会・副理事長
荒井	隆	元日立製作所健康保険組合連合本部・顧問
関田	史保子	東京女子体育大学・教授
渡辺	守成	イオン株式会社イオン新体操クラブ・代表
秋山	エリカ	東京女子体育大学・准教授

池田 真喜子	社団法人日本新体操連盟・事務総長
上村 郁代	折尾愛真学園高校・教諭
岡 久留実	イオン株式会社イオン新体操クラブ・コーチ
崇島 慎一	共同通信社・運動部記者
谷口 裕代	コスモスR G・代表
谷原 誠	みらい総合法律事務所・弁護士
橋本 千波	P E G A S U S U・代表
藤島 八重子	(有)エフ・パル代表取締役
山崎 浩子	スポーツライター
田中 元	田中税理士事務所・所長
岩本 晃	株式会社博報堂アイ・スタジオ・代表取締役社長

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第3号議案「平成23・24年度・役員改選」について承認された。

第4号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが提出されなかった。

平成23年3月16日

社団法人 日本新体操連盟 平成22年度第2回総会

議 長 渡 辺 守 成

議事録署名人 岡 久 留 実

同 崇 島 慎 一